

5 ギャラリートーク

企画展示室において会期中の2回、1時間程度の作品解説。

講座名	期日	担当学芸員	聴講者数
①ピカソ回顧展	5/8・ 5/23	荒木・早川	100名
②勝田蕉琴展	6/26・ 7/11	堀・増渕	50名
③ボナノッテとデ・ミトリ オ二人展	8/7・ 8/22	早川・宮武	30名
④ベン・シャーンのグラフィック ク・ワーク展	9/11・ 9/19	荒木・伊藤	10名
⑤岡鹿之助展	10/2・ 10/17	伊藤・荒木	60名
⑥福島の新世代'98展	12/11・ 12/19・1/17	展覧会出品 作家	190名
⑦英国デイヴィッド・コレ クション展	3/12・ 3/27	増渕・堀	60名

合計：500名

6 コレクショントーク

常設展示室において月1回、1時間程度の所蔵作品解説。

開催展示室	解説内容	期日	担当者	聴講者数
海外洋画室	印象派作品について	5/9	早川	10名
日本画室	勝田蕉琴と同時代の 日本画家たち	6/13	佐治	10名
国内洋画室	関根正二の作品と 生涯	7/11	伊藤	7名
版画室	日本の木版画の流れ	8/8	久慈	15名
企画展示室	特集展示「ベン・シャーン のグラフィック・ ワーク」について(1)	9/11	荒木	3名
日本画室	日本画の人物表現	9/12	増渕	3名
企画展示室	特集展示「ベン・シャーン のグラフィック・ ワーク」について(2)	9/19	伊藤	3名
国内洋画室	現代絵画について	10/10	宮武	8名
日本画室	現代の染織作品に ついて	11/14	佐治	10名
版画室	斎藤清の木版画 (一周忌に寄せて)	12/12	荒木	10名
版画室	長谷川潔、駒井哲 郎の銅版画	1/9	堀	10名
海外洋画室	印象派作品について	2/13	吉村	8名
国内洋画室	福島洋画について	3/13	真柴	17名

合計：114名

7 美術館への年賀状展の開催

新春恒例の事業として、おなじみになった年賀状展も今年で15回目を数えた。県内の小・中学生から寄せられた心のこもった手作りの年賀状をすべてエントランスホールに展示した。

・会期：平成11年1月10日(土)～1月31日(日)

・応募点数：小学生194点、中学生346点、学年不明等60点
合計600点

8 館内解説

(1) 団体解説

学校教育や公民館等の社会教育活動の活発化に伴って、団体で美術館を訪れる機会も増えてきている。そのほとんどが館内の案内等を要望するため、学芸員が交代で対応している。内容は、当館の概要及び代表的な収蔵品の解説、常設展並びに企画展の解説案内が中心である。

(2) 質問電話への対応

当館では、展示室の各所に質問電話を設置し、展示品や美術全般についての観覧者からの質問に答えている。質問電話の使用は簡単で学芸室と直結しているため、観覧者の利用は多く、素早い対応が可能である。

9 映像資料

(平成11年3月31日現在)

自主制作ビデオテープ	38本
購入・受贈ビデオテープ	63本
購入・受贈スライド、フィルム	11セット
16mm映画フィルム	4本

10 図書資料

(平成11年3月31日現在)

分類	和書	洋書
辞書・事典・年鑑・図書目録	828冊	80冊
画集・美術全集・所蔵品目録	3,332	302
展覧会図録	10,477	227
研究書・技法書	4,512	245
年報・紀要・報告書	2,249	26
美術雑誌	9,048	846
その他(美術教科書等)	687	14
小計	31,133	1,740
総計		32,873冊